

# 園だより 遊びが学び

秦野市の幼児教育は、大正4年からはじまっています。県内でも最も長い歴史と伝統のある公立幼稚園であると言われていています。そのためか、市内の公立幼稚園は、敷地が広く確保され保育環境は、子ども達にとってとても恵まれていると感じています。本園では、敷地内に畑があり秦野名産の落花生をはじめとした色々な野菜を育て、成長の様子を見ることができます。そして、収穫体験をして各家庭に持ち帰り、季節の旬の野菜が食卓に並ぶという流れがあります。少し敬遠しがちな野菜でも自分で収穫した野菜は別物のようで「美味しかった」と話してくれます。苗植えから収穫までの間には、虫や草花にも出会います。たくさんの学びがあります。

そして園庭の真ん中は、色々な運動遊びが展開されたり、クラスでゲームをしたりと使い方は多種多様です。このような保育環境の中で子ども達は、人や自然との関わりを通してたくさんの「生きる力」（非認知能力）を培ったと思っています。

職員は、この保育環境をどのように生かして保育をするのかを自己研鑽や研修を通して保育の充実に努めてきました。本園の教育・保育に対してのご理解・ご協力をありがとうございました。

## 「外部講師」にお願いして、保育をバージョンアップ！

近年、『幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである・・・』（教育基本法第11条）と掲げられるようになり、幼児教育の重要性が言われています。本園では、計画的に“遊びを通して学べる”よう環境を工夫したり、一人ひとりの幼児の姿を受け止めながらその子にあった援助をして成長を促しています。さらに外部講師の方を招いて豊かな経験や体験が出来るようにしています。その一部を紹介します。

### 【わんぱく体操】

できる！できない？は結果。体操を通して粘り強く挑戦する気持ちを育てます。



### 【リズム・オルフ楽器指導】

楽器を演奏したり、声を出して歌ったりして友達の音や声を聞きながら、一つになる楽しさを感じます。



### 【英語で遊ぼう】

この他にも日本語以外の言葉にふれる機会を設けています。ぬいぐるみや身振り手振りを通して自分の気持ちが色々な手段で伝わる喜び（コミュニケーション力がつくように）を経験します。



### 【絵本の読み聞かせ】

地域の絵本の読み聞かせの団体と交流し、西公民館の図書室や幼稚園で素敵なお話を聞きながら豊かな想像力・言語力を育みます。

